

東京湾海況情報 27-6

東京湾水質調査結果（平成27年9月）

（平成27年9月18日発行）

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒 293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 9/10：内湾（ふさなみ）、9/8：内房海域（ふさみ丸）
 関東・東海海況速報(9/8)、東京湾口海況図(9/8)
 モニタリングポスト(9/10：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)
 神奈川県水産技術センター(9/10)

【 水温・塩分の状況 】

湾内の表層水温(図1)は22~25℃台で、内湾から内房北部海域は平年より低く、特に、内湾中央から北部は3~4℃ほど低めでした。塩分は内湾が29PSU以下で、西側では8~10日の大雨(横浜：252.5mm、東京：272mm)によりかなりの低塩分状態にありました。内房海域は30~32PSU台でした。

縦断ラインの水温・塩分の鉛直分布(図3)では、水温は表層と底層の差がやや小さくなりましたが、塩分は内湾北部から中央部付近までの表層で低くなっていました。

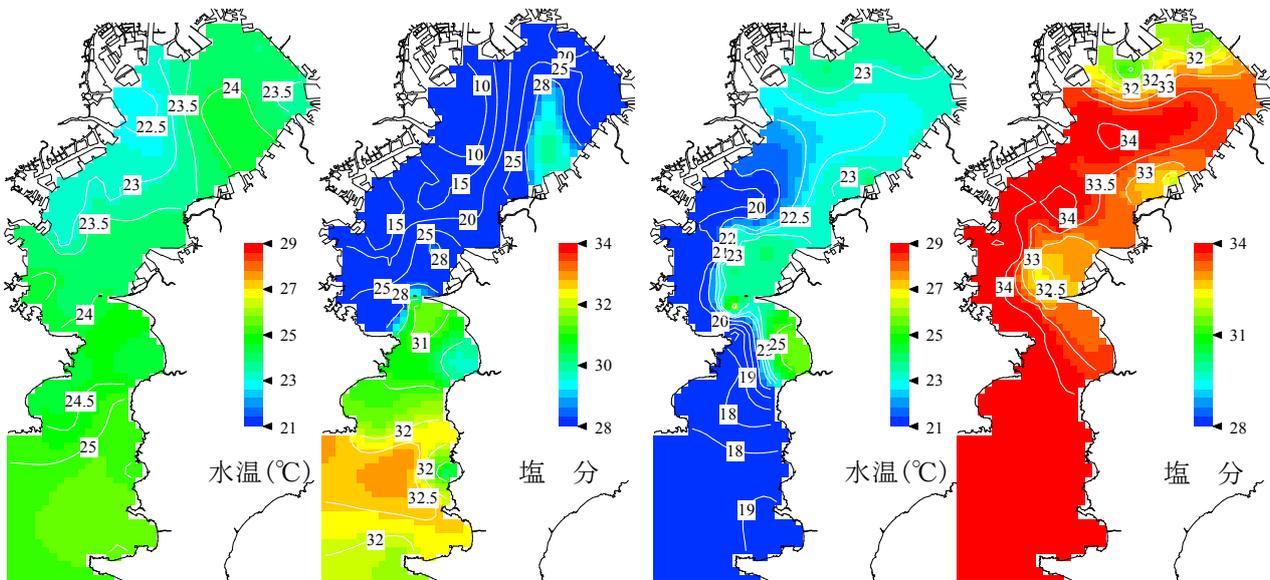


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

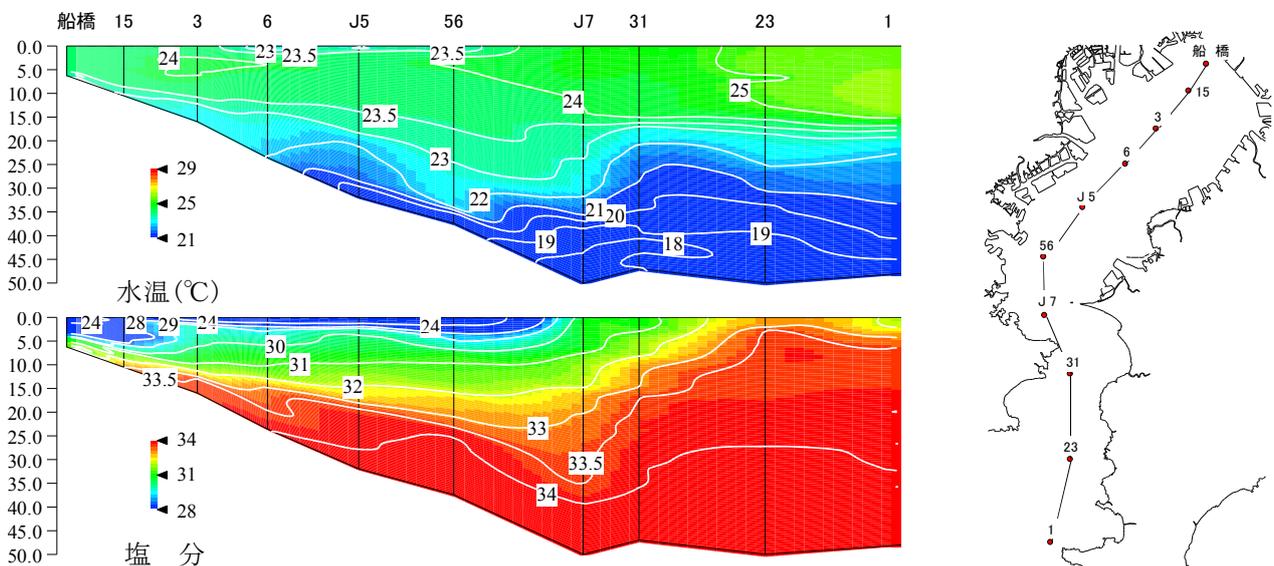


図3 縦断ラインの水温・塩分の鉛直分布(上：水温、下：塩分、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮は全域で発生していませんでした。透明度は8日からの大雨に伴う河川水の大量流入により1m前後まで低下しているところがみられました。

プランクトンは全体的に少なく、内湾はケイ藻のスケルトネマ(*Skeletonema* sp.)、シュードニッチア(*Pseudo-nitzschia* sp.)、内房海域ではリゾソレニア(*Rhizosolenia setigera*)がみられていました。

これらは、いずれも魚貝類に有害な種類ではありません。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μ g/L以上

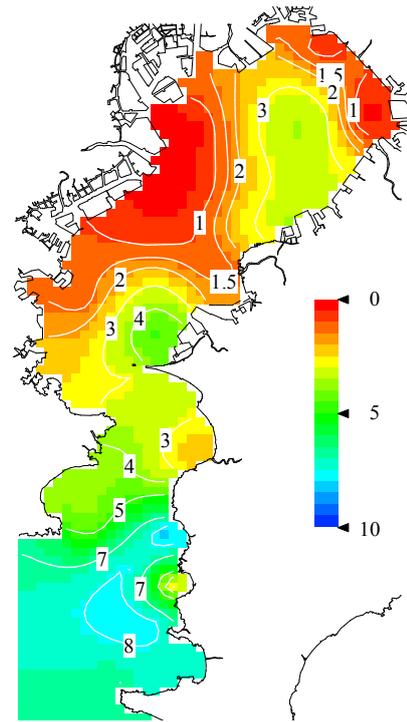


図4 透明度の分布(m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は北部海域で低下し、1ml/L以下のやや強い貧酸素水塊が広く分布していました。

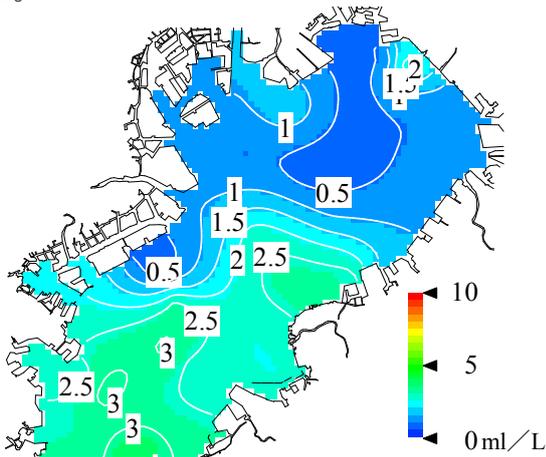


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

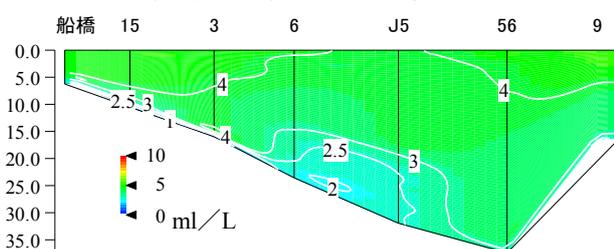


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は溶存無機態窒素(DIN)、リン酸態リン(PO_4-P)とも内湾で多く、平年の2倍以上でした。

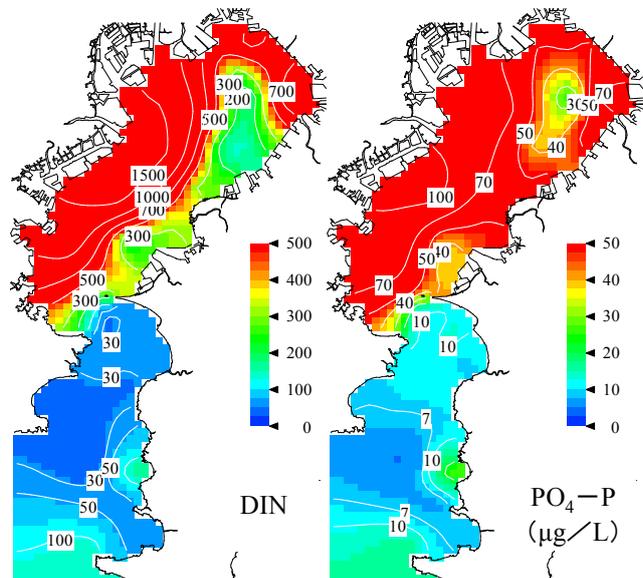


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮は8月中旬頃C型基調になり、その流軸は8日現在青ヶ島の南を迂回した後、房総半島南東岸を蛇行しながら北東方向に流れています(図8)。

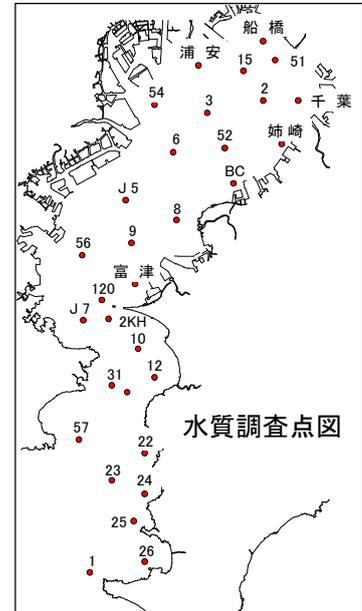
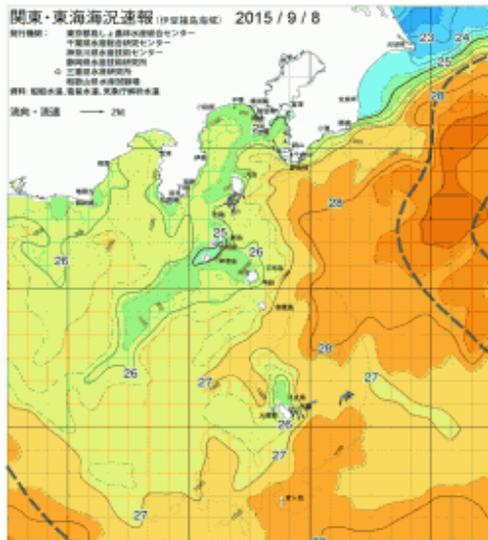


図8 黒潮の動き (平成27年 9月 8日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2003~2012年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
船橋	23.6 (26.3)	18.23 (27.07)	0.8 (1.5)	8.1 (8.3)	0.8 (1.5)	473 (100)	759 (321)	53 (32)	分析中
st. 15	23.8 (26.4)	26.92 (25.44)	2.8 (1.4)	8.2 (8.4)	0.3 (0.6)	121 (60)	298 (360)	41 (19)	
st. 3	23.9 (26.6)	21.31 (26.14)	2.8 (1.9)	8.2 (8.5)	0.3 (0.4)	186 (28)	821 (138)	66 (6)	
st. 6	22.6 (26.1)	9.85 (24.45)	0.8 (1.9)	7.9 (8.4)	2.1 (0.8)	417 (46)	1,508 (363)	79 (19)	
st. 9	23.7 (25.6)	27.55 (27.74)	3.3 (2.1)	8.1 (8.4)	2.4 (3.2)	79 (38)	305 (227)	45 (12)	
st. BC (盤洲Cブイ)	23.9 (26.5)	29.16 (28.58)	3.8 (1.9)	8.0 (8.4)	2.6 (2.1)	90 (23)	262 (133)	55 (17)	
st. 8 (盤洲A南)	23.6 (25.6)	19.72 (28.95)	1.2 (2.2)	8.1 (8.3)	2.1 (2.0)	103 (29)	386 (183)	52 (16)	
富津	23.9 (25.1)	27.43 (28.98)	4.8 (2.7)	8.1 (8.3)	2.7 (2.9)	109 (42)	350 (141)	38 (8)	
st. 2KH (第2海ほ下)	24.2 (24.9)	30.85 (31.01)	3.0 (4.6)	8.3 (8.2)		29 (41)	77 (95)	16 (16)	
st. 31	24.4 (24.8)	30.66 (31.47)	4.0 (5.7)	8.3 (8.3)		11 (31)	35 (66)	10 (11)	
st. 23	25.2 (25.5)	32.89 (33.03)	8.0 (12.8)	8.2 (8.2)		8 (21)	24 (28)	4 (2)	
st. 1	25.3 (25.5)	31.72 (33.57)	7.0 (15.6)	8.2 (8.1)		13 (19)	114 (27)	15 (2)	
st. 10 (下洲沖)	24.4 (24.9)	30.86 (31.59)	3.5 (4.9)	8.3 (8.2)		18 (25)	48 (48)	11 (9)	
st. 12 (湊沖)	24.3 (25.1)	29.47 (31.73)	2.5 (4.8)	8.3 (8.3)		8 (28)	35 (40)	8 (6)	
st. 22 (保田沖)	25.2 (25.5)	32.30 (33.70)	8.5 (13.8)	8.2 (8.2)		12 (22)	51 (29)	9 (1)	
st. 24 (富山沖)	24.9 (25.5)	30.20 (33.52)	3.0 (12.9)	8.2 (8.2)		14 (21)	150 (28)	26 (1)	
st. 26 (館山湾内)	25.5 (25.6)	32.41 (33.50)	7.5 (15.4)	8.2 (8.2)		7 (21)	31 (28)	6 (2)	

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。